

<主な視察先と視察テーマ>

ワシントン,D.C.とその周辺 = ニュー・アーバニストによる街づくり、統合型リゾート =

1. ケントランド/レイクランド:
ニュー・アーバニスト(DPZ)デザインによる伝統的隣住区型郊外住宅地開発(1988年～)
2. ナショナル・ハーバー:
コンベンション施設、ホテル、レストラン、ショップ、エンターテイメント、カジノに加え集合住宅から構成される“統合型リゾート”(2008年～)
3. アレキサンドリア: ニュー・アーバニスト達が規範とし、米国人がノスタルジーを感じるダウンタウンのまちなみ(1749年～)

フィラデルフィアとその周辺 = 田園郊外型住宅地開発 =

1. チェスナット・ヒル: 初期の田園郊外型住宅地開発(1870年代)
2. フィラデルフィア・オールド・シティ: ダウンタウンの賑わいの創出(2018年～)／自由視察

ニュー・ヨークとその周辺

= “愛され続けられる郊外住宅地”と“都市型集合住宅事情”、“賑わいのある空間作り”の現状 =

1. ラドバーン: スーパー・ブロックと歩車分離による郊外鉄道沿線型住宅地開発と住宅地管理事情(1928年～)
2. プラザ・プログラム: アフター・コロナをキーワードに、ブロードウェイやブルックリンなどに点在する「ストリートの理念を超えた賑わいのある街路空間」創出事情
3. ブルックリン地区: 新築集合住宅とリノベーション、コンバージョンを含めて都市再生(2010年代中盤～)



米国人がノスタルジーを感じるDPZによるケントランド/レイクランドのまちなみ



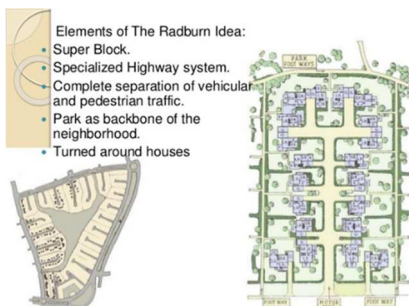
ポトマック河畔に開発された“IR”ナショナル・ハーバー



鉄道沿線型住宅地開発、チェスナット・ヒル



ラドバーンを象徴する広々としたCOMMON・グリーンと“歩車分離”の橋



ラドバーンのクルドサク



ブロードウェイのプラザ・プログラム事例



ブルックリン・ウィリアムズバーグ地区